若い人も お年寄りも 安心して くらせる夕張に

★市民の切実な声に真剣に向き合い、「住民要求を実現」してきました

財政再生団体であっても、

日本共産党
夕張市議会議員
くまがい桂子

議会が市民の代表として、しっかりと情報を公開し、市民が議会を監視しやすくするために、「夜間議会の開催」、「議会報告会」（懇談会）、「議会基本条例」の制定、議会傍聴席への「階段に手すり」の設置などを提案し、実現させてきました。（その他、詳細は裏面）

市民生活では高い国保料や介護保険料、子育て支援、高齢者支援など、問題は山積です。

夕張問題の責任をしっかりと国・道に問い続け、再生計画の期間短縮にとりくみます。

国政でも、憲法９条の改悪、原発の再稼働、ＴＰＰ、労働者や子どもの貧困など、平和と暮らしの問題が深刻です。

安心して暮らせる夕張にするために、国会・道議会と密に連携し、これからも全力で働く決意です。

≪略歴≫

- ·1954 年 2 月　北海道幕別町生れ
- ·1981 年夕張市に転入
- ·1987 年より自宅を開放して　夕張市に初の学童保育を開設。公設化へ向けての市民運動がみのり、市が2箇所で学童保育を開設
- ·1991～2002　小·中学校教員
- ·03. 5～07. 4　夕張市議会議員1期目
- ·07. 8～現在　ゆうばり再生市民会議運営委員·広報委員·事務局
- ·10. 3～11. 　夕張メロンと夕張川の水を守る市民ネットワーク　事務局
- ·11. 5～現在　夕張市議会議員 2 期目

★1期目・2期目ともに、定例議会・委員会では、毎回必ず質問・提案しています。

無料 生活相談
民報ゆうばり
お気軽に相談を　仕事・くらしの悩み
☎090-2810-5901

…市民と共に、国や道の責任を問い続け「財政再生計画の期間短縮」を訴えます…

…国及び北海道は積極的に夕張市の負担の軽減を図る義務がある。夕張市には「財源補償請求権」があり、北海道による債務免除、及び、国による財源補償がなされるべきである。―自由法曹団（2007.10.16）

市民アンケート回答の多くは、「医療費・国保・介護保険料が高く、生活が苦しい」です。夕張問題の国・道の責任をしっかり果たさせ、高福祉の市政に変えましょう！

夕張市の財政破綻？

市民が声をあげ 国や道に「応分の負担」を 求めよう！

1)明治以来、**『国策』で石炭を掘った炭都・夕張**。 最高時、人口は 12 万人を超えました。

しかし、「エネルギー革命」の名で、**相次ぐ重大災害・閉山**がつづき、81 年には北炭夕張新炭鉱で、93 名の命を奪う**重大災害が発生、閉山を強行**しました。

2） 北炭は全員を解雇し、**社会的責任を全く果たさず**、そのうえ、夕張市に土**地・住宅・病院・老朽化した上水道等を買い取らせ**ました。

さらに、**炭鉱の採掘権**だけでなく、**土地・山林を夕張市の土地開発公社等に高値で売りつけるなど、莫大な負担を押しつけて撤退**しました。

3） こうして、夕張市は閉山処理対策として住宅・浴場・水道・学校・道路などの**社会基盤整備等に５８３億円**を投じることとなりました。

このうち、**国・北海道からの補助金は１８５億円のみ、地方債発行は３３２億円**にものぼりました。

4） 国策転換による炭鉱閉山が関連企業の閉鎖を招き、夕張市の地域経済と市民生活を破壊しました。

残された市民の生活を守るための**閉山処理負担は、本来、国と企業が負担すべきもの**です。

5）しかし、**北炭は夕張市へ莫大な負担を押しつけ**ました。

そのうえ、国・北海道の不十分な財源対応が夕張市財政に**過重な負担を強い、膨大な「借金」**となって、**夕張市財政破綻の最大の原因**となりました。

夕張市の財政破綻は、「国のエネルギー政策による炭鉱閉山後の後処理負担」、「国のリゾート政策にのって行き過ぎた観光開発」、「国の地方切捨ての政策」―この三つが原因です。

議会議事録には『市の赤字隠し』も「国や道の容認のもとに行われた」と思われる記載が残っています。

社会保障を削り、大企業に減税する政治から
住民の命とくらし守りたい！

お年寄り・子育て世代・障がいのある方
『だれもが 安心のまちづくり』へ全力！

■住民本位の医療体制を

■住民の実態に即した避難場所・施設のきめ細やかな設置を

■高齢者の買い物やサークル活動にも、子どもたちのスポーツや社会教育にも利用できる公共交通・デマンド交通を

■子どもからお年寄りまで集い、くつろげる公園の建設を

■学童保育の枠拡大、旧校舎等での放課後の居場所づくり、子どもの医療費は中学卒業まで無料に―などの子育て支援を

■どの子も「わかる」、「今と未来に希望が持てる」ゆきとどいた教育を

■電気料金の支払いにも使える「福祉灯油」の実現を

■障がいがあっても、認知症になっても安心の医療・福祉のネットワークと自治体の強化を

■安心の「介護」と「介護保険」「介護労働」を

■夕張の文化を受けつぎ、新たな文化を創造する～（仮称）夕張文化ホール」（図書館＋美術館＋市民の交流スペース＋市民ホール）の建設を

―国政･道政と連携し、市民の暮らし守ります―

みなさんと力をあわせて、『住民自治』のまちづくりを

▼左から　はたやま（現）衆議、くまがい市議、真下道議、大門参議・紙参議　（2013年11月 共産党道議団の夕張問題総務省交渉）

日本共産党　夕張市議

くまがい桂子

力を合わせて実現してきました

★三者協議だけに頼らずまちづくり★

●「議会懇談会」・「夜間議会」『議会基本条例』『傍聴席への階段に手すり」
～議会も身近になりました。たくさん傍聴してください。

●「夕張市防災マップ」「ノンステップバス」
～安心、便利と市民から大変喜ばれています

●「医療保健協議会」の設置
～新しい病院づくりのために

●「地域おこし支援員」
～若い人ががんばってます

●市職員の「待遇改善と増員」
～一番大事なことですね

★☆　市民活動（+議会）で、実現　☆★

●平屋で「除雪のいらない市営住宅」の建設
～お年寄りが「心まちに」していました

●乳幼児医療費「無料化拡大」
～3歳までを「就学前」までに

●「石炭博物館を市民の学習施設に」「旧校舎を活用した〝地域カフェ〟」
～市民団体の活動が大きく実りました